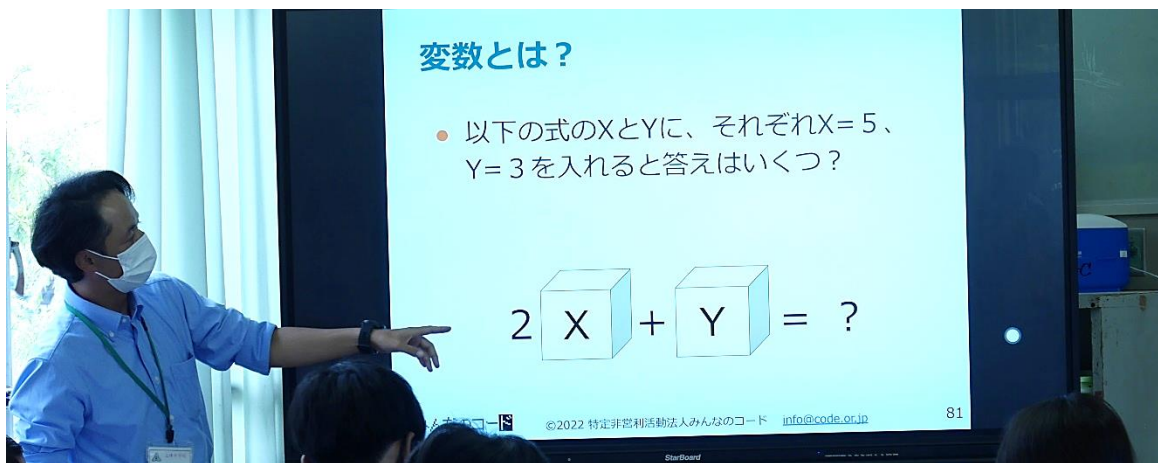


エリアリーダーによる1人1台端末を活用した授業公開 (教育情報化推進リーダー研修)



上峰町立上峰中学校 エリアリーダー 矢動丸 竜真 教諭

単元名：双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決
(中学3年 技術・家庭科 (技術分野))

本時の目標

- ・ メッセージを送受信する伝言板の製作ができる。【知識・技能】
- ・ 伝言板のデザインを修正・改善しようとしている【主体的に学習に取り組む態度】

学習の流れ 全7時間 (本時4 / 7)

導入

①前時までの学習活動を振り返る。

プレゼンテーション機能
(電子黒板)

②本時のめあてを確認する。

<めあて>
メッセージを送受信する伝言板をプログラミングしよう

展開

③各レッスン(ステージ1~5)のプログラミングを進める。

プログラミング教材
(1人1台端末)

<各レッスン>

【ステージ1】送信ボタンで「こんにちは」と表示させる。

【ステージ2】送信ボタンで入力エリアのメッセージを変数に保存し画面にメッセージを表示させる。

【ステージ3】送信ボタンで入力エリアのメッセージを変数に保存し、サーバに送信。成功したら画面にメッセージを表示させる。

まとめ

【ステージ4】サーバから新着メッセージを受信する。受信したメッセージがテキストだった場合は変数を保存し、変数を画面に表示させる。

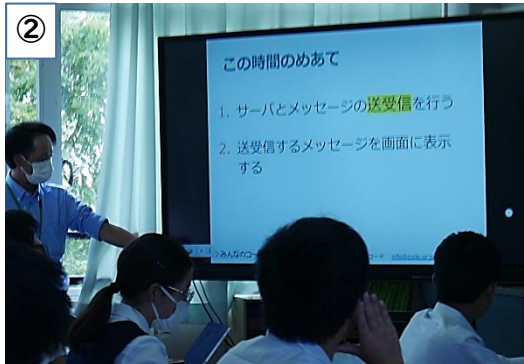
【ステージ5】入力テキストの送信を画面表示し、新着メッセージの受信を画面表示させる。

④ 振り返りを行う。



←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



①前時までの学習を振り返る。

②本時のめあてを確認する。

【プレゼンテーション機能】

教 あらかじめ準備しておくことで板書時間を短縮することができます。

生 今日のめあてをしっかりと意識しながら活動に入ることができます。

<めあて>メッセージを送受信できる伝言板をプログラミングしよう

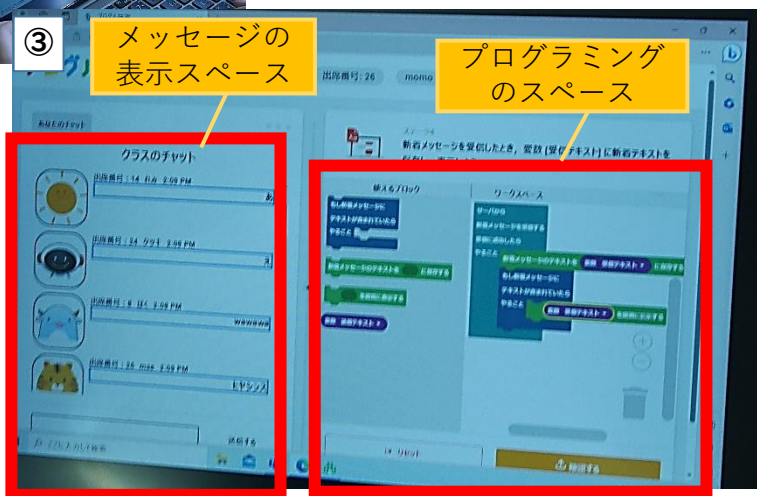
教 今日学ぶことについて図を用いて伝えることで、生徒に詳しい説明ができます。

生 今日の活動について順番を追ってイメージできるので、活動にスムーズに取り掛かりやすくなります。



③各レッスンのプログラミングを進める。

【プログラミング教材（フリー）】



生 各レッスンごとに、友人と学び合いを行いながら課題解決することができます。

教 フリー教材を活用することで、予算をかけずにプログラミング学習ができます。

教 教材の活用例を参考にすることで、授業の準備が簡単に素早くできます。(効率化)

生 ブロックを組み合わせることで簡単にプログラミングすることができます。

徐々に難しくなるステージごとの課題を解決することで、自分たちのペースで学習を進めることができる素晴らしい授業でした。

参観した先生方からは次のような声が聞かれました。

- ・普段からの使用できるような授業を行なっていただいていたので大変役に立つものでした。
- ・使うことが目的ではなく、活用することでより良い学びを目指すことが目的であると再認識することができました。